

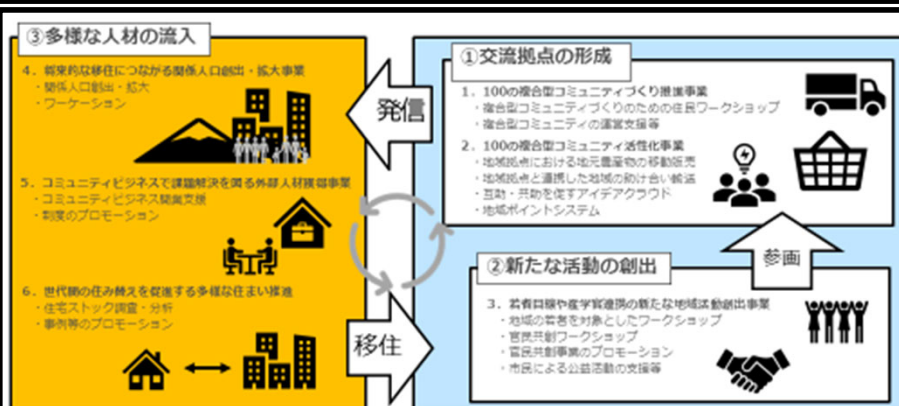
# 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：奈良県 生駒市

## ◆コンセプト：「自分らしく輝けるステージ・生駒」

様々な地域活動が複合的に実施されることで、あらゆる世代の人が気軽に参加できる複合型コミュニティ拠点（以下「まちのえき」という。）が地域内外の人々の接点として機能し、誰もが居場所と役割を持ち、安心して暮らせる魅力的なまちづくりを推進する。

### <特徴>

- これまで地域活動と接点の少なかった主体の地域参画を図る
- 地域電力会社や地元不動産事業者との緊密な官民連携



複合型コミュニティづくり

いこま未来Lab 協創ワークショップ

## ◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

### 「交流・居場所」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 家から歩いて行ける範囲で、地域内外の誰もが集い、交流し、活躍できる「まちのえき」の形成

#### 【今後の展開】

- 多世代が互いに役割を持って交流でき、誰もが居場所のあるコミュニティを形成
- 互いに顔の見える関係の構築による、相互扶助の強化

### 「活躍・しごと」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 若者層をターゲットにした人材育成事業を実施
- 公益的な市民活動に対する支援
- 官民連携の促進

#### 【今後の展開】

- 学生や大学、企業、NPOなど、これまで地域コミュニティとの接点が少ない主体の地域参画を促進

### 「健康」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 家から歩いて行ける範囲に多様な機能を備えた「まちのえき」を整備することにより、徒歩による外出機会を増やす

#### 【今後の展開】

- 「まちのえき」と地域包括ケアシステムとの連携
- 地域社会における様々な支援へとつなげる取組（社会的処方）の充実・強化

### 「住まい」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 多様な住宅ストックの確保と住み替え支援の制度設計
- 空き家の流通支援の一環として空き家のコミュニティ利用の検討

#### 【今後の展開】

- 関係人口や転入希望者が転入しやすい住宅環境の整備により、あらゆるライフステージにおいて希望の住まいを選択し、誰もが住み続けられるまちの実現

### コミュニティへの人の流れ

- 体験型観光事業やワーケーション事業により、関係人口の創出・拡大に取り組む
- 本市に移住し、コミュニティビジネスを開業する人を支援し、外部人材の流入を目指す

### その他特徴的な取組

- 市が出資している地域電力会社の事業収益を地域活性化事業に還元するという資金スキームを有する
- 「まちのえき」と連携し、移動販売・出張型サービスを提供する事業者のネットワークを構築

・人口：117,629人（R5.4月時点）

基礎データ  
・R2.3月 第2期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

・R3.3月 地域再生計画認定

・地方創生推進交付金（R3年度第1回：横展開タイプ）を活用し、多世代交流拠点の形成、新たな地域活動の創出、関係人口創出・拡大事業などを実施。

・地域再生推進法人の指定については現時点では未定。